

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	診療画像検査学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次	学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 701教室
担 当 教 員	安藤 英次	実務経験と その関連資格	奈良県立医科大学附属病院にて、一般撮影・造影撮影などに従事。		
《授業科目における学習内容》					
<p>診療現場から求められる臨床画像を理解したX線撮影技術の基礎知識を理解する。                  診療放射線技師がX線撮影の撮影目的を説明できる。                  X線撮影における診療放射線技師が理解したX線解剖学やX線画像形成論と撮影整位などを学習する。</p>					
《成績評価の方法と基準》					
筆記試験(100%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
X線撮影技術学 小田 紘弘, 土井 司, 安藤 英次編者 オーム社 図解 上肢撮影法 安藤英次著 オーム社 図解 下肢撮影法 安藤英次著 オーム社 画像解剖トレーニングノート 安藤英次著 オーム社					
《授業外における学習方法》					
次回の授業内容を確認し、使用教科書を用いて事前学修(予習・復習)すること。					
《履修に当たっての留意点》					
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。自分でも、情報を収集し、各種診療画像機器の基本システム構成を理解できるように努める。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 胸部や腹部、骨関節を必要最小限のX線被ばくで診断価値のある臨床画像を作成することの意義を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる	
	各コマにおける授業予定	診療放射線技師のX線撮影役割			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 X線撮影における撮影体位の設定、撮影基準線と体表解剖を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる	
	各コマにおける授業予定	X線撮影における撮影体位の設定、撮影基準線と体表解剖			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 頭部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる	
	各コマにおける授業予定	頭部X線撮影			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 頭部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる	
	各コマにおける授業予定	頭部X線撮影			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 胸部のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる	
	各コマにおける授業予定	胸部撮影			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	胸部撮影		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	腹部撮影		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	腹部撮影		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊椎のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	脊椎撮影		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊椎のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	脊椎撮影		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤・股関節のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	骨盤・股関節撮影		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤・股関節のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	骨盤・股関節撮影		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	下肢撮影		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	下肢撮影		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	上肢撮影		

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	診療画像検査学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次	学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 701教室
担 当 教 員	安藤 英次	実務経験と その関連資格	奈良県立医科大学附属病院にて、一般撮影・造影撮影などに従事。		
<b>《授業科目における学習内容》</b>					
<p>診療現場から求められる臨床画像を理解したX線撮影技術の基礎知識を理解する。            診療放射線技師がX線撮影の撮影目的を説明できる。            X線撮影における診療放射線技師が理解したX線解剖学やX線画像形成論と撮影整位などを学習する。</p>					
<b>《成績評価の方法と基準》</b>					
筆記試験(100%)					
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b>					
X線撮影技術学 小田 紘弘, 土井 司, 安藤 英次編者 オーム社 図解 上肢撮影法 安藤英次著 オーム社 図解 下肢撮影法 安藤英次著 オーム社 画像解剖トレーニングノート 安藤英次著 オーム社					
<b>《授業外における学習方法》</b>					
次回の授業内容を確認し、使用教科書を用いて事前学修(予習・復習)すること。					
<b>《履修に当たっての留意点》</b>					
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。自分でも、情報を収集し、各種診療画像機器の基本システム構成を理解できるように努める。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	上肢撮影		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳房X線撮影を理解する	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	乳房X線撮影		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急領域のX線撮影を理解する	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	救急領域のX線撮影		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨密度検査を理解する	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	骨密度検査		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨密度検査影を理解する	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	骨密度検査		

